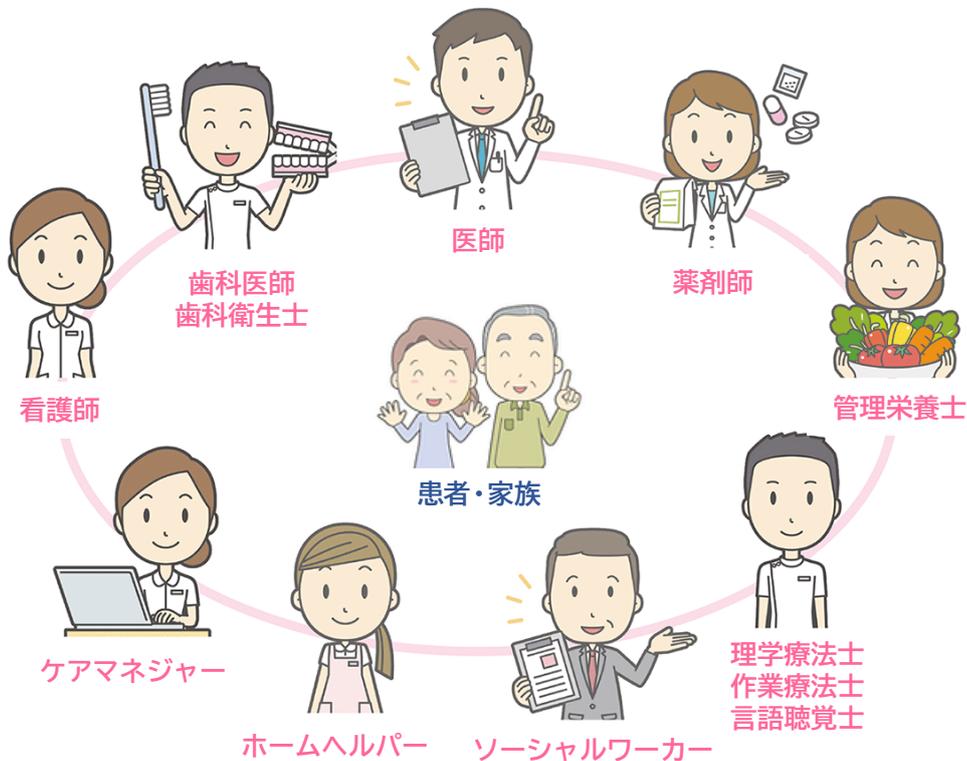


最終案

呉市版退院前カンファレンス オンライン実施のための手引き

～高齢者の誰もが、住み慣れた地域で健やかに安心して
暮らし続けることができるまちを目指して～



令和4年2月

呉市在宅医療・介護連携推進検討委員会
退院前カンファレンスのオンライン化ワーキンググループ

はじめに

呉市では、住み慣れた地域で自分らしい暮らしを人生の最期まで続けることができるよう、地域において、切れ目なく医療と介護が一体的に提供できる体制づくりを進めています。

特に、最近時の感染症流行による影響や自然災害の被害状況等から、医療と介護の関係者（以下「医療・介護関係者」という。）間の情報の共有化を喫緊の課題とし、平時だけでなく不測の事態においても安定的な医療・介護サービスを継続的に提供することができるよう、退院前カンファレンスのオンライン化に取り組んでいます。

市民が安心して自宅や次の退院先へ移ることができるようにするためには、在宅療養を支える医療・介護関係者のみなさまのスムーズな連携が不可欠です。

この「呉市版退院前カンファレンスオンライン実施のための手引き」（以下「手引き」という。）は、オンラインにおいても医療・介護関係者間で円滑な情報共有が可能となることをめざして、呉市在宅医療・介護連携推進検討委員会に設置された退院前カンファレンスのオンライン化推進ワーキンググループで作成しました。

より良い退院前カンファレンスの実現に向けて取り組めるよう、この手引きを共有し、活用いただければと思います。

また、この手引きはこれで完成というものではなく、医療・介護関係者の皆様にとってより使いやすく、より市民のためになるよう、今後も改訂を重ねていくことが必要と考えます。

この手引きを多職種のみなさんで育てていただくために、「このような表現に変えたほうがよい」「他にこんな思いも共有したい」などの御意見がありましたら、御連絡をお待ちしております。

御意見・御連絡先

呉市在宅医療・介護連携推進コーディネーター

TEL：080-4922-7645

E-mail：kurechikicare3402@gmail.com

〒737-8501 広島県呉市中央4丁目1-6

呉市役所 高齢者支援課内

TEL：0823-25-3138

E-mail：kourei@city.kure.lg.jp

第1章 基本的な考え方

患者や利用者（以下「本人」という。）、その家族が安心して退院後の生活を送れるように、多職種が連携を図りながら退院支援を行う必要があります。そのために退院前カンファレンスでは、必要な情報を共有するとともに、本人や家族が望むよりよい生活を送るために必要な支援を協議します。退院時の本人の状態が入院前と異なる場合や家族指導が必要な場合は、退院前カンファレンスを行い、平時だけでなく不測の事態においても有益な退院支援が行えるように、オンラインカンファレンスを実施します。

1 多職種連携を図るうえでのコミュニケーションへの配慮

お互いに思いやりを持って、丁寧な対応を心がけ、お互いの視点を大切にし、専門用語はなるべく使わずに相手が必要とする情報を分かりやすい言葉で簡潔に伝えましょう。

2 情報共有の観点

本人や家族が安心して退院後の生活を送ることができるように、本人や家族の意向、退院支援に向けた課題・目標・方向性、予想される状態や対応方法、家族の介護力など、支援するために必要な情報を共有しましょう。

3 個人情報保護の観点

本人や家族等の同意を得て実施することを基本とします。個人情報の取扱いについては、所属機関の規定に基づき、オンラインの環境であっても、第三者に患者に関する個人情報や医療情報が伝わることがないように適切に取り扱しましょう。

4 参加者の選定

病院関係者・在宅支援者だけでなく、本人を支援する関係者にも必要な場合には参加を呼びかけましょう。

5 インターネット等を使用しにくいあるいは使用できない参加者への配慮

視覚障害者・聴覚障害者・パソコン使用に不慣れな人なども積極的な参加が出来るように支援をしましょう。

6 退院後の情報共有

退院指導や退院前カンファレンスの後に、共有した情報が変化した場合は、医療機関と在宅療養を支えるスタッフ間で、変更内容について確認し、情報共有しましょう。

第2章 退院前カンファレンス オンライン実施手順

- 1 参加者へオンラインカンファレンス参加可否の確認を行う。
- 2 参加者の使用可能なオンラインツール、通信環境の確認を行う。
- 3 利用可能なツール（ツールは限定せず）でミーティング ID・会議日時等を設定し、参加者へ参加依頼を行う。※機器トラブルがあった場合の連絡先を事前に共有しておく。
 - (1) 実施するカンファレンスごとにミーティング ID を発行し、会議予約をする。
※同じ ID を使いまわさないようにする。
 - (2) 参加者に ID を通知し当日の参加を依頼する。
依頼はメールまたは文書で行う。
- 4 参加者に患者情報を事前に提供する。
カンファレンス次第・患者情報（診療情報提供書、看護紹介状、リハビリ紹介状等）を事前に参加者へ提供することが望ましい（※参考資料 参照）。
※個人情報 E-mail では送らない。
- 5 オンラインカンファレンスを実施する。
 - (1) 当日は事前に会場を開くよう時間設定を行う。
 - (2) 司会者は事前に決めて、当日の進行を行う。
 - (3) 司会者は「発言時以外は音声をミュートにすること、録画・録音・撮影はしない こと」を説明したうえでカンファレンスを開始する。
- 6 オンラインカンファレンスの内容を記録する。
記録は各機関でそれぞれ作成し、保管する。
ケアマネジャーは完成したケアプランを医療機関へ提供する。

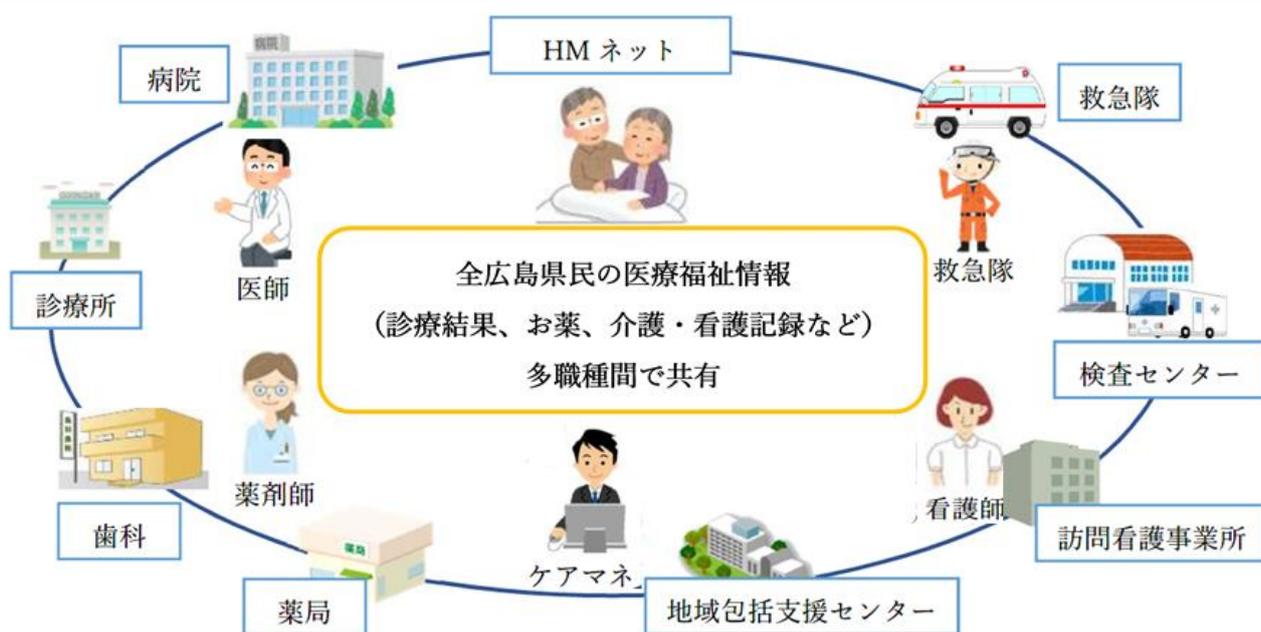
【参考資料】

HMネット（ひろしま医療情報ネットワーク）を活用した情報共有

退院前カンファレンスのオンライン実施には、高いセキュリティ機能を有し、安価なコストで正確な情報を迅速に入手することができるシステムとして、ひろしま医療情報ネットワーク（以下「HMネット」という。）の活用を推奨します。

1 HM ネットとは

全広島県民の医療福祉情報を医師や薬剤師，看護師やケアマネジャーなどの多職種間で共有することができる地域医療連携ネットワークで広島県と広島県医師会が構築・運営しています。



2 退院前カンファレンスにおけるHM ネットの活用法

(1) テレビ会議システム

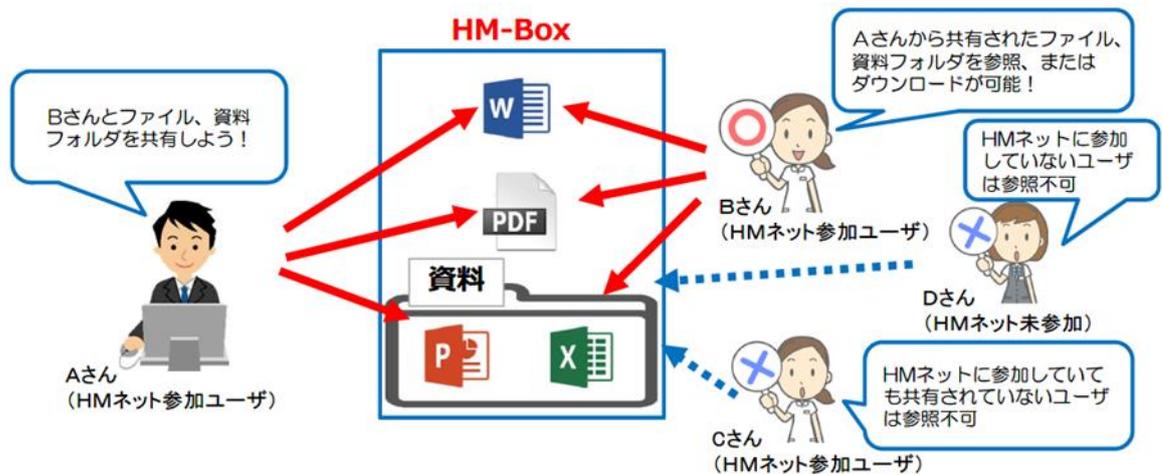
高いセキュリティ上で HM ネット加入者だけが利用できるため、個人情報取扱いに配慮が必要なオンラインカンファレンスに適しています。

(2) ファイル共有システム (HM-BOX)

「HM-BOX」は、HMネットに参加しているユーザ間で一時的にファイルを共有する仕組みであるため、患者情報の共有に使用することができます。

メール・FAX よりも安全に PDF, Word, Excel など、1人5GBまで保管可能で、ファイル更新日から起算して7日経過すると保管ファイルが削除されます。(退院前カンファレンス資料を保存する場合には、カンファレンス日までは保管が出来るように各自で設定する必要があります。)

退院前カンファレンスの看護サマリー等の共有に活用できます。



(3) HM-BOX を活用した患者情報の共有

患者情報は関与した関係者で共有しましょう。

共有する場合には、共有相手のIDを確認し共有設定を行いましょう。

※共有設定する場合、事業所名で検索ができないため、共有相手のIDを事前に確認しておく必要があります。

設定例：診療情報提供書→Dr，訪問看護師，ケアマネジャー，薬剤師など
 看護サマリー→Dr，訪問看護師，ケアマネジャー，薬剤師など
 リハサマリー→Dr，訪問看護師，ケアマネジャー，デイケア，訪問リハなど

3 HM ネットへの加入について

HM ネットは加入者同士の情報共有ツールとして連携している医療機関，介護サービス事業所，障害福祉サービス事業所がそろってご加入いただくことが効果的です。

- (1) インターネットにつながるパソコンをご準備ください。
- (2) パソコンの設定は，HM ネット事務局のエンジニアが行います。
- (3) 医科・歯科・薬局は月額利用料がかかります。
- (4) 介護サービス事業所，障害福祉サービス事業所は月額利用料はかかりません。
- (5) 加入に関するお問い合わせ

一般社団法人 広島県医師会 ひろしま医療情報ネットワーク 事務局
 〒732-0057 広島市東区二葉の里三丁目 2 番 3 号
 TEL：(082)568-2117
 HP：<https://www.hm-net.or.jp/index.php>

【HM ネットの参加施設一覧】

